



## 高杉 晋作 (たかすぎ しんさく)

天保 10 年(1839)～慶応 3 年(1867)



### 人物紹介

〈諱〉春風 〈字〉暢夫 〈通称〉晋作・東一・和助  
 〈号〉東行・西海一狂生・東洋一狂生 他

高杉晋作は、萩藩士高杉小忠太の長男として萩城下町の菊屋横町で生まれた。藩校明倫館に学び、19歳の時に吉田松陰の松下村塾に入塾。文久元年(1861)、23歳の時に藩世子毛利定広の小姓役となり、以来藩政に関与するようになる。文久3年(1863)、下関において奇兵隊を創設、翌年には脱藩の罪で野山獄に囚われるも、四国連合艦隊の下関攻撃が始まると再び起用され講和にあたる。禁門の変後、幕府に恭順の立場をとる藩の主流派に対して下関で拳兵、内戦の末勝利し、藩を倒幕へと導いた。慶応2年(1866)の第二次幕長戦争(四境戦争)では海軍総督となり采配を振るうが、肺結核にかかり、慶応3年(1867)4月、倒幕を見ずに下関で没した。享年29歳。



### 資料紹介 県立図書館所蔵の高杉に関する本



### 書簡、日記、述作などを読む ※ [ ] 内は県立図書館の請求記号

- ・『高杉晋作史料』全3巻 一坂太郎編 マツノ書店 2002 [Y289/Ta54/N 2]  
 第1巻：公私にわたる晋作の書簡と来簡を成立年月日順に配列。送序や識語も含む。  
 第2巻：日記・述作・揮毫及び印譜。詩文集『東行遺稿』や揮毫は写真版。  
 第3巻：略系図、婚姻関係、葬儀関係、碑文、略年譜などの関係史料・参考史料。
- ・『高杉晋作の手紙』一坂太郎[著] 講談社 2011.8 [Y289/Ta54/P 1]  
 100通の手紙を選んで解説を付す。巻末に漢詩や和歌も収録。
- ・『高杉晋作の「革命日記」』一坂太郎著 朝日新聞出版 2010.9 [Y289/Ta54/P 0]  
 6冊の日記を現代語に近い言葉に置き換え、解説や注を加えた新書。
- ・『晋作語録 増補決定版』一坂太郎著 第三文明社 2014.12 [Y289/Ta54/P 4]  
 晋作のものとしてされる数々の言葉を取り上げ、解説する。
- ・『高杉東行詩文集』高杉東行著 峰間信吉訳註 東行庵 1993.10 [Y919/M 3]  
 漢詩とその読み下し、意識を掲載。1918年刊の復刻。



### 生涯をたどる

- ・『高杉晋作』海原徹著 ミネルヴァ書房 2007.2 [Y289/Ta54/N 7]  
 人物像と歴史的役割を描く。略系図、参考文献、略年譜、索引があるほか、巻頭に図「諸国遊歴の跡」があり、日本地図上で移動範囲を知ることができる。
- ・『高杉晋作と奇兵隊』青山忠正著 吉川弘文館 2007.1 [Y289/Ta54/N 7]  
 史料から実像を読み出し、その生涯を描く。主要参考文献一覧あり。

- ・『高杉晋作』 富成博著 弓立社 2005.10 [Y289/Ta54/N 5]  
巻末の「漢詩で綴る晋作の生涯」で、約 20 の晋作の漢詩を紹介。年譜あり。
- ・『高杉晋作』 梅溪昇著 吉川弘文館 2002.07 [Y289/Ta54/N 2]  
多くの典拠史料を紹介しながら一生をたどる。略系図、略年譜、参考文献あり。
- ・『高杉晋作 情熱と挑戦の生涯』 一坂太郎[著] KADOKAWA 2014.7 [Y289/TA 54/P 4]  
著者が編集を担った『高杉晋作史料』の編纂過程で生まれた『高杉晋作』（文藝春秋 2002）を改題・加筆・修正した文庫。略年譜、略系図、主要参考文献あり。
- ・『高杉晋作 その魅力と生き方』 古川薫編 新人物往来社 2010.7 [Y289/Ta 54/P 0]  
古川薫、中原雅夫、清永唯夫、福田百合子、中原郁夫、武部忠夫による晋作論を収録。『高杉晋作のすべて』（新人物往来社 1978）を再編集し加筆・訂正したもの。年譜、系譜のほか、各地を訪れた晋作の「旅行年譜」（p183-188）があり、滞在期間などがまとめられている。
- ・『高杉晋作と久坂玄瑞』 池田諭著 大和書房 2015.2 [Y289/Ta54/P 5]  
二人の歩んだ道を対比させながら描く。1966年刊の新装版。略年譜、参考文献あり。
- ・『高杉晋作』 奈良本辰也著 中央公論社 1965.3 [Y289/Ta54/J 5]  
戦後に出版された、歴史家の手による初の本格的評伝として知られる新書。略年表あり。
- ・『高杉晋作』 森本覚丹著 四季出版 1988.4 [Y289/Ta54/L 8]  
宇部市出身の音楽評論家、森本覚丹の著作。詩と音楽の関係について研究した著者らしく漢詩を多く引用し、簡単な解釈も付している。1943年刊の新版。年譜あり。
- ・『高杉晋作』 横山健堂著 東行庵 1996.4 [Y289/Ta54/M 6]  
松下村塾生であった著者の父が残した手記を核に、晋作の妻や山縣有朋、井上馨、伊藤博文ら関係者から話を聞き取るなどしてまとめた作品。1916年刊の復刻。年譜あり。

### 写真やイラストが多いもの

- ・『高杉晋作の 29 年』 一坂太郎著 新人物往来社 2008.8 [Y289/Ta54/N 8]  
人物や史料、縁の地など、多くの写真とともに晋作の生涯をたどる。根拠となる出典を明記した「高杉晋作日譜」も掲載。
- ・『月刊高杉晋作総集編』 ザメディアジョン 2009.12 [Y289/Ta54/N 9]  
カラー写真が豊富。山口県内の晋作ゆかりの地を地図で紹介。
- ・『月刊・松下村塾 Vol.4 吉田松陰と高杉晋作』 山口産業 2005.1 [Y289/Y 86/N 4]  
カラー写真やイラストを用い、生涯をわかりやすく紹介。



### ゆかりの地をめぐる

- ・『高杉晋作と長州』 一坂太郎著 吉川弘文館 2014.7 [Y289/Ta54/P 4]  
「高杉晋作の足跡をあるく」（p125-155）でゆかりの地を紹介。

#### 山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ  
TEL：083-924-2114（調査・相談）  
FAX：083-932-2817  
ホームページ：https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/

このほかにも関連資料がありますので、詳しくはお問い合わせください。

作成日：平成28(2016)年3月31日

改訂日：令和元(2019)年7月19日